

## 第2学年 国語科学習指導案

児童 2組 男子13名 女子 9名 計22名  
指導者 音尾 匡

- 1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう  
教材名 「サンゴの海の生きものたち」 光村図書 2年上

### 2 単元の構成

#### (1) 教材について

本教材は、「サンゴの海の生き物たちが互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む」ことを目標にし、小学校1・2年生の「読むこと」の内容「イ 時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」をねらいとしている。

文章は、「はじめ（問いかげ）」「中（事例1・事例2）」「おわり（まとめ）」という3つのまとまりで構成されており、典型的な説明的な文章の形式となっている。また、サンゴの美しい海に住む生き物達の共生の方法を順序立てて説明した文章なので、事柄の順序に着目しながら内容の大体を読み取る学習に適した教材である。

#### (2) 児童について

6月に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- ① 国語の勉強は好きですか。（「どちらかといえば」も含む）・・・・・・・・・・77%
- ② 説明的な文章の学習は好きですか。（「どちらかといえば」も含む）・・・・・・・・・・86%
- ③ 説明的な文章の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか。  
（「見つけることが多い」も含む）・・・・・・・・・・77%
- ④ 読書は好きですか。（「どちらかといえば」も含む）・・・・・・・・・・82%
- ⑤ 自分の考えを発表できますか。（「できるほう」も含む）・・・・・・・・・・77%

アンケートの結果を見ると、国語の授業に意欲的な児童が多いことが分かる。特に説明的な文章の学習について興味を持って取り組んでいる様子が伺える。学習に対しての興味は、「分かったと感じられること」、「自分の意見を発表できること」の二つの要素が大きく関係すると予想される。

このことから、本教材では、児童が課題解決しやすいよう、単元、授業の見通しをもたせること、授業内容が一目で分かるような板書の工夫をすることに配慮したい。また、児童が自分の考えを持てるよう「一人学び」「学び合い」の時間を十分に保証したり、ペープサートを使った動作化を取り入れたりしたい。

#### (3) 指導にあたって

「つかむ」段階では、教材文「サンゴの海の生きものたち」は、「はじめ」「中」「おわり」という文章構成になっていることを確認させる。さらに、はじめの部分での「どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。」という問題文と、そのかかわり合いが「たがいに、やくに立つように」なされていることをしっかりと確認させて読み進めていきたい。また、「海の生きものひみつカード」を作ることを活動のめあてとして意欲付けを図りながら、自分でも興味をもって調べ読みができるよう、本や図鑑の紹介もしていきたい。

「ふかめる」段階では、学習課題を自分達で考えることで意欲付けをはかり、互いの役に立つかかわり合いを確かめ、最終的にはワークシートの吹き出しを書くことを確認する。そのために主語を確認することや、重要語句として「です。」「ます。」という文末表現と、「でも」「だから」「こうして」という接続語や「このように」というまとめの言葉に着目させたい。

また、自分で調べたかかわり合いを発表し、意見を板書しながら確認し、さらに、ペープサートを用いて、教科書の記述内容に立ち返りながら、読みを確かなものにするような学び合いの場を設けたい。

「まとめる・ひろめる」の段階では、「海の生きものひみつカード」を作ることを活動のめあてとし、児童が自分でも興味をもって調べ読みができるよう、本や図鑑の紹介もしていきたい。

### 3 単元の目標

◎ 海の生き物たちのかかわり合い方について、事柄の順序を考えながら読む。

<国語への関心・意欲・態度>

- ・海の生き物についての本を、興味をもって読もうとする。

<読む能力>

- ・「サンゴの海の生きものたち」が互いに役立っていることを、事柄の順序を考えながら読む。〔イ〕
- ・語や文のまとまりや内容、言葉の響きなどについて考えながら声に出して読む。〔エ〕

<書く能力>

- ・生き物についての本を探し、知りたいことを調べて、分かったことを書く。〔イ〕

<言語についての知識・理解・技能>

- ・片仮名を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使う。〔イ（ア）〕

### 4 単元の指導計画と評価規準 (11時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への 関心・意欲・態度	読む(書く)能力	言語についての 知識・理解・技能
つかむ	1	○全文を通読し、学習の見通しをもつ。 ・全文を読み感想を書く。	写真から想像を広げ、海の生き物について興味をもって読もうとしている。〈発言・態度〉	全文を読み、初めて知ったことや不思議に思ったことなどを書いている。〈発言・ノート〉	片仮名の名前の生き物を読んだり書いたりし、片仮名で書く語を文の中で使っている。〈ノート〉
	2	○音読練習をする。 ・分からない言葉の意味を確認する。 ・音読練習をする。 ・新出漢字の練習をする。	進んで音読練習している。〈態度〉	語や文のまとまりを考えながら音読している。〈音読〉	漢字や語句について理解している。〈発言〉 「です。」「ます。」「たがいに」「やくに立つ」かかわり合い「しよく手」「ねばねば」「おおわれている」「あんぜん」「～にかけて」「ほど」「さまざまに」
	3	○学習計画を立てる。 ・簡単に文章構成をつかむ。 ・「問い」の文を読み取り、学習の計画を立てる。(段落①②)	題名や「問い」の文などから、学習のめあてをもとうとしている。〈発言・態度〉	文章構成や学習課題を考え、学習の見通しをとらえている。〈発言・ノート〉	文章構成を理解している。〈発言・ノート〉 〈語句理解〉 「たがいに」 「やくに立つ」 「かかわり合って」 「でしょうか。」
ふかめる	4	○イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて読み取る。 ・それぞれの体の特徴を読み取る。(段落③④)	イソギンチャクとクマノミの特徴とらえ、吹き出しを書こうとしている。〈発言・ワークシート〉	イソギンチャクやクマノミの体の特徴について読み取っている。〈サイドライン・発言・ワークシート〉	主語と述語に注意して読んでいる。〈発言・ワークシート〉 「～です。」 「～ます。」 「これで」 「でも～ありません。」 「おおわれている」 「これが」 「ひみつ」

	5 本時	○イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて読み取る。 ・それぞれのかかわり合いを読み取る。(段落⑤⑥)	イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについてとらえ、吹き出しに書こうとしている。(発言・ワークシート)	イソギンチャクやクマノミのかかわり合いについて読み取っている。 (サイドライン・発言・ワークシート)	「～です。」 「～ます。」 「だから」 「あんぜん」 「この」 「おいはらって」 「こうして」 「たがいに」
	6	○ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読み取る。 (段落⑦⑧⑨)	ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いをとらえ、お礼の吹き出しを書こうとしている。(発言・ワークシート)	ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて読み取っている。(サイドライン・発言・ワークシート)	「～です。」 「～ます。」 「その一つ」 「でも」 「ただ～ではありません。」 「このように」 ▼「さまざまに」
まとめる・ひろめる	7	○海の生き物についての本を読む。 (段落⑩)	進んで本を探して読んでいます。(態度)	調べたい部分を探し出している。(観察)	片仮名の名前の生き物を読んだり書いたりしている。(カード)
	8 9	○「生きものカード」を書く。 ・生き物の名前や特徴などを文と絵でまとめる。	知らせたいこと・不思議なことを生き物カードに書こうとしている。(態度・カード)	【書く】 集めた材料をもとに、分かったことをカードに書いている。(カード)	
	10	○「生きものカード」を読み合う。	楽しくカードを読み、感想をもっている。(態度・発言)	カードを読んだ感想をもち、交流している。(発言)	

## 5 本時の指導 (5 / 11 時間)

### (1) 目標

イソギンチャクとクマノミとの「互いにまもり合う」かかわり合いについて読み取る。

### (2) 指導にあたって

#### ○仮説1〈板書構成の工夫〉にかかわって

イソギンチャクとクマノミの「互いにまもり合う」かかわり合いを確かめていくことを確認し、読み取りの見通しをもたせる。イソギンチャクとクマノミの互いに役に立つかかわり合いを調べ、両者の言葉を吹き出しに書くというワークシートを示すことで本時のまとめのイメージを持たせる。

#### ○仮説2〈学び合い〉にかかわって

「学び合い」の場面では、自分で調べたかかわり合いを発表させ、意見を板書しながら確認する。さらに、ペープサートを用いて、教科書の記述内容に立ち返りながら、読みを深められるような「学び合い」の場を設ける。

#### ○仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉にかかわって

毎時間の学習の振り返りをするにより、自分の考えをもてた喜び、分かったことの喜び、発表できた喜びを実感させ、学習の意欲づけをする。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問・児童の反応)	一人	複数	全体	留意点 評価 (評価方法)
つかむ  5分	<p>1 前時の学習を想起する。 ○問いの文はどんな文でしたか。 ・どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。 ○イソギンチャクとクマノミの体の秘密は何でしたか。 ・イソギンチャクは細長いしよく手にどくがある。 ・クマノミの体はねばねばしたえきでおおわれているのでイソギンチャクにさされない。</p> <p>2 学習課題の確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読みとろう。</p> </div>				<p>・留意点 評価 (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習課題につなげるために、問いの文を確認する。</li> <li>・本時の内容につなげるために、イソギンチャクとクマノミの体の特徴を確認する。</li> <li>・「かかわり合い」の意味をおさえながら課題を確認する。</li> </ul>
ふかめる  37分	<p>3 課題解決の見通しをもつ。</p> <p>4 五, 六段落を音読する。</p> <p>5 イソギンチャクとクマノミの関係を読み取る。 ○イソギンチャクとクマノミ以外にどんな生き物が登場しますか。 ・大きな魚 ・小さな魚</p> <p><b>○海の生き物のかかわりが分かる言葉にサイドラインを引きましょう。</b> ・クマノミを食べる ・イソギンチャクをこわがって、近づいていきません。 ・イソギンチャク中にいれば、クマノミはあんぜんです。 ・イソギンチャクを食べにくる ・おいはらってしまいます。 ・たがいにまもりあっているのです。</p> <p><b>○海の生き物たちはどんなかかわりしているのかみんなでまとめていきましょう。</b> ・大きな魚はクマノミを食べる。 ・小さい魚はイソギンチャクを食べる。 ・大きな魚はイソギンチャクに近づけない。 ・クマノミは音を出して小さい魚おいはらう。</p> <p><b>○イソギンチャクとクマノミはどんなかかわり合いかたをしていますか。</b> ・協力している。 ・助け合っている。 ・たがいにまもりあっている。</p> <p>6 「たがいにまもり合っ」ている様子をペープサートを使って確認する。</p>	一人 学び			<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の流れを確認する。</li> <li>・ワークシートの吹き出しに言葉を書いてまとめることを確認する。</li> <li>・イソギンチャクとクマノミの関係をより理解させるために、その他の生き物とのかかわりも調べていく。</li> <li>・主語や文末表現に注目することを確認する。</li> </ul>
				学 び 合 い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の生き物たちの関わりを視覚的に理解させるために、発言で出たことを矢印や言葉をつかって黒板にまとめていく。</li> <li>・「こうして」という言葉を手がかりにして、たがいに守り合っていることを記述で確認する。</li> <li>・ペープサートを使うとき、たがいに守り合っている様子について4つの生き物の台詞を考えるよう指</li> </ul>

	<p>7 課題についてまとめる。 ○イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて吹き出しに、まとめましょう。</p> <p>イソギンチャクくんの中にいけば、大きな魚に食べられなくて安全だ。</p> <p>クマノミ</p> <p>ぼくたち、おたがいに、まもりあっているよね。</p> <p>イソギンチャク</p> <p>クマノミくんがいれば体を食べられなくてすむよ。</p> <p>○まとめを発表する。</p>		<p>示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの場面に分けて、互いにまもり合っている様子を吹き出しに書くよう指示する。</li> </ul> <p>A評価=イソギンチャクやクマノミの体の秘密にふれながら、自分の言葉でまとめている。</p> <p>Cへの支援=板書されている重要語句に注目するよう示唆する。</p> <p>意図的指名をし、発表させる。</p>
<p>まとめ 3分</p>	<p>8 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめと感想を発表する。</li> </ul> <p>9 次時の学習を確認する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習を振り返って評価をノートに書くことを指示する。</li> <li>・ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについて学習することを確認する。</li> </ul>

《自己評価の観点》

- イソギンチャクとクマノミのかかわり合いがわかったか。
- 自分の考えを発表することができたか。
- 友達の考えのいいところがわかったか。
- 今日の学習は楽しかったか。

(4) 主な発問と板書計画

2年 「サンゴの海の生きものたち」(5/10時間目)	指導者 音尾 匡
<p>本時の指導</p> <p>(1) 目標                      イソギンチャクとクマノミとのかかわり合いについて、特徴との関連を考えながら読み取る。</p> <p>(2) 指導にあたって</p> <p>仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって                      イソギンチャクとクマノミの「かかわり合い」を確かめていくことを確認し、読み取りの見通しをもたせる。イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを調べ、両者の言葉を書くというワークシートを示すことで本時のまとめのイメージを持たせる。</p> <p>仮説2〈学び合い〉に関わって                      「学び合い」の場面では、自分で調べたかかわり合いを発表し、意見を板書しながら確認する。さらに、ペープサートを用いて、教科書の記述内容に立ち返りながら、読みを確かにするような「学び合い」の場を設ける。</p> <p>仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって                      毎時間の学習の振り返りをする事により、自分の考えをもてた喜び、分かったことの喜び、発表できた喜びを実感させ、学習の意欲づけをする。</p>	
<p style="text-align: right;">主発問等 (つかむ)</p> <p>○ 問いの文はどんな文でしたか。                      ○ イソギンチャクとクマノミの体の秘密は何でしたか。                      (ふかめる)</p> <p>○ イソギンチャクとクマノミ以外にもどんな生き物が登場しますか。</p> <p>○ 海の生き物たちはどんなかかわり合しているのかみんなでまとめていきましょう。</p> <p>○ イソギンチャクとクマノミはどんなかかわり合いかたをしていますか。</p> <p>○ イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて吹き出しに、まとめましょう。</p>	
<p style="text-align: right;">(板書計画)</p> <p>サンゴの海の生き物たち                      もとかわ たつお                      かい</p> <p>イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取る。</p>	